

今年より良い来年を願って

埼玉県グラビア協同組合
副理事長 佐伯 陽子



はじめまして。この度、若輩でありながら初めて GPJAPAN 巻頭言へ寄稿させていただきます。

埼玉県グラビア協同組合にて 2023 年より副理事長を仰せつかっております、(株)佐伯紙工所 代表取締役社長 佐伯陽子と申します。どうぞよろしくお願い致します。

世界的平均気温が過去最高を記録し、地球温暖化を超え沸騰化などと言われた本年の夏は、秋をも飲み込みやっと終わりを迎え、いつもより遅い冬の訪れとなりました。

会員の皆様におかれましては、年の瀬のお忙しい中とは思いますが益々ご健勝のことと存じます。

今年の夏は豪雨による災害が各地で起こり、自然環境の変化に恐怖をも感じました。いまだ復旧がままならず、大変な日常を送られている皆様にご心からお見舞い申し上げます。一日でも早くいつもの日常に戻れます事を心よりお祈り申し上げます。

異常気象をもたらす地球の温暖化に、私達の産業活動の発展も少なからず要因の1つとなっております。「気候変動に具体的な対策を」それぞれが僅かでも日常の中で取り組みを行い、この地球を守り、後世へと繋がなければなりません。

当社でも、これまでの全社としての SDGs の取り組みに加え、本年より社員一人ひとりの SDGs 目標を決め、取り組みを開始致しました。

人々の行動も変わり、モノの流れや購買動向も読みにくい今の時代、気候変動だけでなく、長引く原材料高、物流困難の問題、労働の規制や人手不足の問題等、私たちにおいても解決の糸口の見えない問題がまだまだ山積しており、とりわけ人手不足問題は当社でも悩ましい問題であります。

特に当業界のような技術職においては、育成にも時間を要するのが実状です。外国人研修生や外部労働力の活用なども積極的に行うかわら、多能工や仕事の効率化も進めていかなければならないのだと改めて痛感させられます。

現代の若者から、コスパ(費用)・タイパ(時間)・スベパ(空間)など、そのもののパフォーマンスを問う言葉を耳にする機会が多くあり、これからは文字通りパフォーマンス(効果や性能)の高い働きをしなければならないのだということなので

しょう。引き続き、パフォーマンスの高い業務に努め、付加価値の向上に努めなければなりません。

さて、私は2012年に家業である工場へ入社し、2019年、父である現会長より引き継ぎ、社長に就任したばかりでございます。幼いころより工場で育ち、目にしていた場所で働くことに特段の抵抗感はありませんでした。

世には、事業承継問題に頭を悩ます経営者の方も沢山いらっしゃいます。当社も多分に漏れず、その1つでありました。父は、一人娘である私に会社を継がせるつもりはなかったのだと思います。現在でも女性経営者の少ない印刷業界で、当時は当然のことであったでしょう。

2014年にダイヤ精機(株) 諏訪貴子氏の書いた「町工場の娘」という本がベストセラーとなり、ドラマ化がされました。お父様より会社を引き継ぎ、主婦から社長へ就任し、社業を優良企業に導くまでの奮闘を綴った素晴らしい著書です。とても共感をしたことを覚えています。

工場の運営や経営について父ともぶつかることも多々、社員ともなかなか上手に分かり合えないことも日々同じようにあらゆる問題が押し寄せ、壁にぶち当たる毎日ですが、いずれも今日より良い明日、今月より良い来月、今年より良い来年を願わない人はいないはず。時も変わり、叶える方法やスピードは違えど願いは同じゴールへ向かっているのだと思います。

今では諏訪さんのご苦労が実ってか、この業界のみならず女性の経営者が多くおられます。女性経営者としての何かお悩みがあればとお話をいただきましたが、窮すれば通ず！ 期せずして家業を継ぐこととなった私ですが、特段そのような悩みを持ったことはございません。それはきっと時代が変わっただけでなく、全国グラビア協同組合連合会の皆様のご理解と寛容なお心によるものと感謝致します。

いつも気さくにお声掛けいただき、ご指導や励ましをいただき事業継続への力をいただいております。

これからも女性のみならず若手の方々の成長を、諸先輩方には温かく見守りいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

私はいつも女性らしくではなく、「私らしくありたい」と思っております。

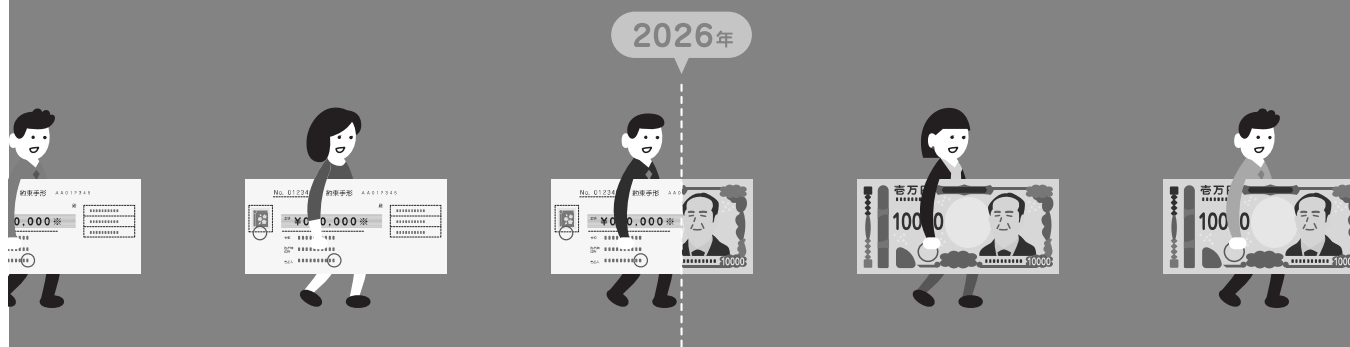
感謝を忘れず、ご縁を大切に・・・

結びになりますが、全国グラビア協同組合連合会の会員皆様も益々のご繁栄を祈念致しますとともに、ご多用な折、皆様どうかご自愛下さい。

約束手形を振り出している発注者の皆様へ

紙の約束手形、 やめませんか？

政府と産業界、金融界は、
2026年の約束手形の利用廃止に向けた取組を行っています。



約束手形による支払いは、

- ① 現金が手元に入るまでの期間が長く、② 支払期限前に現金化する際の割引料が高いことから、取引上の立場の弱い受注側企業に対する資金繰りのしわ寄せになっています。

受注側企業への支払いに約束手形を利用している場合、2026年に向けて以下の対応をお願いします。



1. 原則：現金による支払い (インターネットバンキングによる銀行振込を含む)

資金繰りのしわ寄せを防止し、受注側企業ができる限り早く現金を受領できるようにするためには、現金による支払いが大原則となります。

サプライチェーン全体で現金払いが進むよう、業界横断的に取組を進めていくことが重要です。まずは自社における受注側企業に対する支払方法の見直しをお願いいたします。



2. 電子記録債権による支払い

現金による支払いの実現が困難な場合、紙の約束手形と同等の機能を持つ支払手段として、電子記録債権も利用できます。手形振出しや取立てなどの事務手続きを簡素化でき、郵送料や印紙税も不要であるほか、紛失や盗難の心配がありません。また、必要な分だけ分割して譲渡や割引ができるなど、手形よりも柔軟に資金化しやすい特長があります。

公正取引委員会及び中小企業庁は、下請代金の支払の適正化を図るため、2024年を目標として手形等(約束手形、一括決済方式又は電子記録債権)のサイト(手形期間又は決済期間)を60日以内とするよう、要請を行っています。また、今後、サイトが60日を超える手形等を下請法の割引困難な手形等に該当するおそれがあるものとして指導の対象とすることを前提に、下請法の運用の見直しを検討することとしています。

<https://www.meti.go.jp/press/2021/02/20220216002/20220216002-1.pdf>



GP 全グラ情報 JAPAN

2024年12月号 No.289 全国グラビア協同組合連合会

今月の表紙

2024GP環境大賞等表彰式



10月30日に開催されたGP環境大賞等表彰式の様子。写真上段：GPマーク普及大賞ゴールドプライズ受賞者の皆さん、写真下段：GPマーク普及大賞、準大賞受賞者の皆さん（本文12～14頁参照）

CONTENTS

巻頭言 今年より良い来年を願って ①

埼玉県グラビア協同組合 副理事長 佐伯陽子

全グラ

全国グラビア協同組合連合会 理事会：特定技能外国人材制度に向け準備着々と... ⑥

全グラ事務局：手形サイトの短縮化（60日以内）がスタート、電子化見据え... ⑨

外国人技能実習生評価試験について

報告者：全国グラビア協同組合連合会 顧問 都築晋平 ⑮

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合青年部：

「2024年秋季研修会 印刷技法に関する技術セミナー」報告 ⑩

報告者：富士機械工業㈱ 内藤 剛

JFPI

2024GP環境大賞表彰式・トークショー・懇親会 ⑫

報告者：全国グラビア協同組合連合会 事務局顧問 下田幸二

第59回GP工場交流会：静和精版印刷、SDGsや環境重視の時代へ、宝印刷、

業態生かしてGPマーク表示拡大 ⑳

Data Watch 2024年8月 ⑮

紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷	2024年9月 …	22
GP認定制度申請についてのお願い	……………	26
GP工場認定制度無料説明会のご案内	……………	28
目立ってしましますが、実力もすごいのです	……………	30
サイバーセキュリティ対策 第2弾	……………	35
報告者：全国グラビア協同組合連合会 事務局顧問 下田幸二		
サイバーセキュリティ関連資料	……………	36
出典：(一社)日本印刷産業連合会「関東グラビア協同組合理事会配布資料」 (2024年10月10日開催)		
Information		
JPI、1月24日に「包装材料セミナー」を開催	……………	9
CONVERTECH含む14展、2025年1月末に開催	……………	29
JPI、2月に「第15回食品包装コース」を開催	……………	35

GPJAPANは全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円+税です。

購読および広告出稿を希望される方は、**全国グラビア協同組合連合会**まで。
e-mail : zenkoku-grv@jfpi.or.jp



発行：2024年12月10日
 発行人：田口 薫 (全国グラビア協同組合連合会会長)
 発行所：全国グラビア協同組合連合会
 〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9
 あさひ墨田ビル
 TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814
 編集スタッフ：袖山高明 (全国グラビア協同組合連合会専務理事)
 下田幸二 (同事務局顧問)、渡邊富美子 (同事務局)、
 酒井由香 (同)
 編集協力：(株)加工技術研究会
 印刷：(株)DI Palette

© 全国グラビア協同組合連合会 2024

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPANの無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

全国グラビア協同組合連合会 理事会

特定技能外国人材制度に向け準備着々と

全国グラビア協同組合連合会は、2024年11月7日（木）午後零時30分～3時40分まで、東京・第一ホテル両国4階「楓BCD」において理事会を開催した。出席者は、田口 薫会長（関東グラビア協組・最高顧問理事：大日本パッケージ(株)）、安永研二副理事長（同・副理事長：東包印刷(株)）、竹下晋司副理事長（関西グラビア協組・理事長：(株)ダイコー）、石井 純副理事長（関東プラスチック印刷協組・理事長：(株)多漣堂）、若狭博徳副理事長（北海道グラビア印刷協組・理事長：(株)北海サンコー）、母里圭太郎副理事長（九州グラビア協組・理事長：(株)平野屋物産）、杉山真一郎副理事長（東海グラビア協組・理事長：富士特殊紙業(株)）、吉原宗彦理事（関東グラビア協組・理事長、東京加工紙(株)）、川田雄治理事（同・副理事長：トーホー加工(株)）、山下雅稔理事（同・副理事長：(株)巧芸社）、市村清一理事（埼玉県グラビア協組・理事長：(株)ダイトー）、大野寿之理事（北海道グラビア印刷協組・副理事長：極東高分子(株)）、浮田信也理事（東海グラビア印刷協組・副理事長：大和産業(株)）、奥田拓己理事（関西グラビア協同組合・副理事長：(株)北四国グラビア印刷）、高桑真樹理事（同・副理事長：(株)ガイドー）、賀谷真尚理事（北陸グラビア協組・理事長：賀谷セロファン(株)）、織田憲三理事（同・理事：アートパックス(株)）、中村政晃理事（九州グラビア協組・理事長：(株)三裕商会）、袖山高明専務理事、都築晋平外国人技能実習制度担当顧問、下田幸二事務局顧問の21名。



田口会長

田口会長は冒頭の挨拶の中で、日本の人口減少、人手不足、若年労働者の低賃金等について触れ、「軟包装の重要性や五里霧中で特定技能に関する様々な取り組みを行っていることを理解していただけるよう陳情活動を続けているが、簡単ではない。最も困っていることは人手不足。外国人に選ばれる国になるには努力をしなければいけない。若い世代にも伝える必要がある。そのためには、今までのパターンで業界の説明をしても理解を得ることは難しいと考える。こうした悩みを皆さんと共有して解決の道を探っていきたい」と述べた。続いて、田口議長の下、次の議事について話し合いが行われた。

全グラ上期決算

袖山専務理事から上期決算について、前年同期比での差異について説明が行われた。

全グラ・関グラ・関プラ合同新年賀詞交歓会

2025年1月17日（金）、ホテルニューオータニにおいて開催予定の新年賀詞交歓会の来賓について袖山専務理事より説明が行われた後、選定については田口会長に一任された。

GP 環境大賞等表彰式

今年度の GP マーク普及大賞ゴールドプライズを受賞した(株)北四国グラビア印刷へお祝いの言葉と、10月30日（水）の GP 環境大賞等表彰式、小山薫堂 GPPR 大使のトークショー、5年振りの懇親会について、山下理事から報告があった。



吉原理事（左）と山下理事

「当日は 100 名弱に集まっていたが、コロナ前に比べると半減。今後は案内のタイミングや方法を見直して、多くの人に来てもらえるようにしたい。こうした活動は GP 工場を増やすために行っている。ここ数年はグラビア部門からの認定工場も滞っている。組合員の皆様にお声がけいただき、さらなる認定制度の拡大と、GP マーク表示普及を推進したい」。

なお、今年度はケーブルテレビの J:COM とのタイアップで表彰式当日の映像を 2 次利用できるように準備しているとのこと。「各社の HP に掲載できるよう素材の編集を進めているので、完成次第、改めて報告したい」。

続いて、吉原理事からも当日の報告とともに、GP マーク普及大賞と準大賞を受賞した(株)巧芸社、賀谷ゼロファン(株)にお祝いの言葉が述べられた。

法務省、経産省へのレクチャーについて

2024年9月30日（月）に田口会長、袖山専務理事、吉原理事による衆議院第二議員会館での法務省 出入国在留管理庁 政策課、経済産業省 製造産業局 素材産業課および文化創造産業課へのレクチャー（GPJAPAN11月号6頁参照）について、吉原理事から報告があった。「グラビア印刷の説明から、ラミネート、スリット、製袋があって初めて食品パッケージの完成に至るとの説明を行うとともに、これらの業種の特定技能追加認定をお願いした。ただ、スリットや製袋に関しては、こうした取り組みを取りまとめる組合がないという課題もある」と説明した。



安永副理事長

印刷インキ工業会「物流 2024 年問題に対しての適正化に向けた要請」

安永副理事長より印刷インキ工業会からの「物流 2024 年問題に対しての適正化に向けた要請」について説明があった。

外国人技能実習評価試験監督者募集

都築顧問が試験監督有資格者の現状や 12 月 11 日（水）開催の第 4 回監督者の講習会（Zoom）について説明し、各組合員の現役従業員や退職者への外国人技能実習評価試験監督者の応募協力を呼びかけた。



都築顧問

製造業特定技能外国人材制度受入れ協議・連絡会への加盟

袖山専務理事から「組合加入規約（案）Ver1」等の報告があった。また、特定技能外国人材制度を利用するにあたり、組合員は各単組による組合指定の審査や全グラからの加入者証の発行を受けるとともに、特定技能外国人材制度の受入れ協議・連絡会への加盟が必要との説明があった。

景況



- ・ 人手不足、時給アップで求人募集
- ・ 求人応募者の年齢は高め
- ・ 年末に向けて動きが出てきたが、波は小さい
- ・ 価格交渉は継続
- ・ 最低賃金の地域格差
- ・ 地域と外国人の共生に課題も
- ・ 大手流通は小商圏での新しい事業フォーマットを展開

その他

理事会終了後、(株)日本包装リースより、大日本印刷(株)が提供する「ライトアニメ」を活用した軟包装業界向け人材募集案内・人財教育ソフト制作について紹介があった。

手形サイトの短縮化（60日以内）が スタート、電子化見据え

全グラ事務局

公正取引委員会および経済産業省では、中小企業の取引適正化の重点課題の一つに「支払い条件の改善」を位置付け、約束手形、電子記録債権、一括決済方式による下請代金支払のサイトの短縮を推進してきました。

2024年11月以降、下請法上の運用が変更され、サイトが60日を超える約束手形や電子記録債権の交付、一括決済方式による支払いは、行政指導の対象となりました。サイトの短縮は、下請法の適用対象とならない取引も含め、サプライチェーン全体で取り組むことが重要となっています。

また、政府は、2026年度末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を出しています。支払い条件の急速な変更、早めの対応が必要となっています。



Information

JPI、1月24日に「包装材料セミナー」を開催

日本包装技術協会（JPI）は、2024年1月24日（金）午後1時～4時50分まで、「第20回包装材料セミナー～包装業界での環境への対応と期待される今後の取り組み～」をZoomにて開催する。

定員は100名。参加費は、JPI会員1万6500円、3名同時申込1名あたり1万4300円、一般2万4200円（いずれも税込）。

申し込みは、JPIホームページ（<https://www.jpi.or.jp>）より。プログラムは次のとおり。

13:00～13:50

GX市場創造に向けた取組について

経済産業省 GXグループ 環境政策課
環境経済室 係長 竹下敬太氏

14:00～14:50

プラスチック資源が循環する社会に向けた新たなケミカルリサイクルの取り組み

大阪大学 大学院工学研究科

教授 宇山 浩氏

15:00～15:50

カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet の開発

(株)カネカ Global Open Innovation企画部
主任 宅 佑奈氏

16:00～16:50

段ボール包装における2024年物流問題への対応

レンゴー(株)
パッケージング部門 生産本部
生産業務部 物流課 課長 眞田浩平氏
パッケージング部門 開発本部
包装技術第一部 東京包装技術第二課
課長 半田雅之氏

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合青年部

「2024年秋季研修会 印刷技法に関する技術セミナー」報告

報告者：富士機械工業(株) 内藤 剛

2024年10月4日(金)、関東グラビア協同組合青年部(原 卓実部長、三洋グラビア(株))は、午後3時より(株)SCREEN GP ジャパン東京本社にて、2024年秋季研修会 印刷技法に関する技術セミナーを開催しました。

秋季研修会では印刷技法に関する技術セミナーとして(株)SCREEN GP ジャパン様、富士機械工業(株)様より、それぞれ講師を招きEBオフセットの現状や最新グラビア印刷機の講義を開催しました。



SCREENGP ジャパン様の講義の様子

冒頭、原部長様より開会の挨拶後、SCREEN GP ジャパンの中村様が登壇し、EBオフセットについての紹介が行われました。SCREEN GP ジャパン様が取り扱うEBオフセット機はCOMEXI製Offset CI Evolutionであり、2014年から販売が開始され、ヨーロッパ・東南アジアを含め、今年で30台の納入実績があるそうです。さらに年間の生産能力が3台ということを見るとフルに生産されており、需要の高さをうかがわせました。

EBオフセットのメリットとして『人手不足・高齢化』『環境対応』『短納期対応』『コスト高騰対応』があるとのことでした。

『人手不足・高齢化』については、センタードラムの利点を生かし、1台のロボットアームのみで最大8色分の印刷スリーブの自動交換が可能となっております。オフセットインキは欧州で規格化されているため、調色はCIP3によるインキツボコントロールでスキルレスかつ短時間に調整ができ、自動洗浄装置により少ない人数で誰でも操作可能とのことでした。

『環境対応』については、有機溶剤を使用しませんので、VOCが発生しないという利点があります。また、硬化はEB照射装置のみで(窒素パーズが必要になるものの)、乾燥設備も不要のため、CO₂(燃料)や電力消費量(ブロー)も大幅に削減となります。防爆対応も不要で、給排ダクトなどの付帯費用削減も大きな利点となります。

気になるEBインキの価格については、一般的にグラビアインキに対して3倍とのこと

でしたが、溶剤がないので塗布量が少なく済み、実際の使用量から換算するとグラビアインキとほぼ同等価格に抑えられるとのことでした。

『短納期対応』『コスト高騰対応』においては、オフセット版は最大70枚/時で作成可能で、1版当たり800～1000円で製版することができ、版を保管する倉庫も不要とのことでした。



富士機械工業様の講義の様子

富士機械工業からは設計部長の西村様が登壇し、グラビア印刷機の最新技術について『働き手の減少』『小ロット化』『環境対応』をテーマに紹介が行われました。

『働き手の減少』においては、大手印刷会社様と共同開発したFTS型印刷機。これは現行の段取り時間を半分に縮めることを目標に開発され、版径に応じて自動でプリセットできるインキパン昇降や懸垂型ドクター装置。一度に新旧版をスムーズに交換できるスピーディアームで力や体に負担がかかる作業を必要とせずに段取り時間短縮を可能としておりました。また、自動で版交換を可能とするFSR型印刷機。現状は各ユニット付随する交換台車へ版を人力で載せる必要がありますが、将来的には配膳も自動化を進めているとのことでした。

現状の印刷機にも対応できる省力化案として新型版胴運搬台車:ターンリフターを開発、縦置きされた状態の版胴を直接台車へ積み下ろしができ、縦から水平状態に移行できる機構を備えているため、そのまま直接印刷ユニットに取り付けることができます。オペレーターは数十kgもある版胴を起倒する負荷の高い作業から解放されることが期待できます。

『環境対応』については、水性対応印刷機、熱交換器など乾燥器のリサイクルシステム、紙継テープを必要としない静電気を利用したテープレス紙継などの紹介がありました。

EB オフセットは環境面や労働環境において優れた面がありましたが、本体価格が高いことや、日本の品質基準にどのように対応していくかが課題だと感じました。一方でグラビア印刷は環境対応や労働環境についての技術的ハードルが高く、業界全体としてどのように対応していくか、受講された青年部の皆様に問題点や危機感を投げかける良い秋季研修となりました。

報告者：全国グラビア協同組合連合会 事務局顧問 下田幸二

2024GP環境大賞表彰式・トークショー・懇親会

10月30日（水）神田神保町の出版クラブホールにて、「2024GP 環境大賞表彰式」が執り行われた。今年で、グリーンプリンティング認定制度が始まり18年が経過し、認定工場は446工場を数えるまでに伸びてきた。

（一社）日本印刷産業連合会堆副会長の挨拶の後、各賞が表彰された。グリーンプリンティングPR大使小山薫堂（放送作家・脚本家）さんがプレゼンターを務めた。GP表示マーク製品を数多く発注し、過去3回GP環境大賞を受賞したクライアントに、感謝の意を込めて4回目の受賞から「GP環境大賞ゴールドプライズ」が設定され、今年度は㈱ジェイアール東日本企画、東武鉄道㈱が受賞した。グラビア関連では、「GPマーク普及大賞ゴールドプライズ」に㈱北四国グラビア印刷、「GPマーク普及大賞」に㈱巧芸社、「GPマーク普及準大賞」に賀谷セロファン㈱が受賞した。

表彰式の後、小山薫堂さん、㈱コーセークリエイティブディレクター山崎茂さん、underline graphic 代表の石田清志さんによるトークショーへと移った。「印刷と私」というテーマで、今回はパッケージデザインの難しさ、楽しさ、製品売上への影響度、印刷発注量と価格等多方面に話は展開した。最後に、能登地震復興応援として、日本酒の新発売・ラベルデザイン作成の話へと進み、義援金募集も兼ねた。



日印産連の堆副会長



GPマーク普及大賞ゴールドプライズを受賞した北四国グラビア印刷



GPマーク普及大賞を受賞した巧芸社



GPマーク普及準大賞を受賞した賀谷セロファン



小山薫堂GPPR大使

表彰式後、場所を宴会場へと移動し、懇親会となった。乾杯の挨拶は、「GPマーク普及大賞ゴールドプライズ」を受賞した(株)北四国グラビア印刷の林営業部長が行い、中締めをGPマーク推進部会長に就任した吉原関グラ理事長が務めた。5年ぶりの懇親会開催とあって大いに盛り上がり、一層のGPマーク普及を誓い終了した。

懇親会 snapshots





懇親会で挨拶する北四国グラフィア印刷の
林 健二営業部長



吉原 GP 推進部会長の挨拶



能登の酒蔵の酒